

豊明市第5次行政改革第2次アクションプラン案

「パブリックコメント」実施結果

ご意見の総数	8件
実施時期	平成22年2月1日より平成22年3月2日
実施方法	アクションプラン案に対する意見聴取 各案は市ホームページ及び企画政策課窓口に設置 ホームページでの意見提出は専用電子フォーマット にて直接受信

全てのご意見は、行政改革推進委員会にも報告をし、行政改革推進本部において協議のうえ計画への反映を検討していきます。

平成22年3月26日の第6回行政改革推進委員会において検討結果を踏まえ答申が示される見通しです。

市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきました。まことにありがとうございました。

企画部企画政策課

いただいたご意見	意見対応の内容
<p>意見1</p> <p>以前に別の計画にパブリックコメントの意見提出を行った際、意見内容が要約され、ブランド力のあるまちづくりを妨げる内容となったと考えているが、提出意見等の修正について、どう考えているのか。</p> <p>(例、豊明市が全国1位となっていることなどを書いたが要約の結果カットされた)</p>	<p>意見1への対応</p> <p>ご指摘のとおり、パブリックコメントにて市民の皆様からいただいた意見については、必要に応じて、要約等を行っています。</p> <p>それは、いただいた質問と市の回答、それぞれの内容や対応関係を市民の皆様にはわかりやすくお伝えすることを最大の目的としているためです。その点から、必要に応じて文面の要約等を行っていますので、ご理解ください。</p>
<p>意見2</p> <p>豊明市と同様、映画「折り梅」のロケ地になった犬山市は、映画「折り梅」の監督の松井久子さんの第三作『レオニー』においてもロケ地として利用されたと聞いている。豊明市も、アジアで最大、世界でも第五位の花き卸売市場である愛知豊明花き市場などを有している。これらの地域資源をいかしたまちづくりの実行、ブランド戦略が望まれます。</p>	<p>意見2への対応</p> <p>ご指摘のとおり、地域資源を活用したまちづくりを展開するべく、第2次アクションプラン案でも桶狭間古戦場の観光情報の発信等の事業を実行していきます。</p> <p>アクションプラン案p.11</p>
<p>意見3</p> <p>今回のプラン(案)も削減・値上げが多く、とよあけマラソンの休止を始め最近、中止・廃止・値上げが目につく。その上窓口対応が悪くなってきている。</p> <p>このような状況であれば、豊明市は名古屋市に編入すれば良いのではないか。</p>	<p>意見3への対応</p> <p>ご指摘のとおり、今回のプラン案についても47事業の内、「減量と効率化の推進」が33事業と最も多くなっています。しかし、これに併せて、組織制度を変更し職員を減少させていくことや、既存資産の有効活用等、効率的な行政執行に努めてまいります。また、窓口対応については、平成16年度から行っている接遇に関する研修を今後も行い、職員の能力を向上させていきます。</p>

<p>意見4</p> <p>職員数の削減については、総数ではなく、分野別・職種別の定員管理計画を策定してはどうか。</p>	<p>意見4への対応</p> <p>本市の定員管理計画では、総数及び分野別・職種別の計画となっており、市のホームページで公開しています。この計画によってプランのNo.1を作成したところであり、平成25年4月に職員数501人としています。</p>
<p>意見5</p> <p>特別職の退職金の引き下げを愛知県市町村職員退職手当組合に提案してはどうか。</p>	<p>意見5への対応</p> <p>社会情勢に合わせて考えていかなければいけないことではありますが、現時点で速やかに提案しなければいけないことは考えておりません。そのため、行革プランには追加しません。</p>
<p>意見6</p> <p>市民税や国保税などの税金の滞納処理は収納課が、介護保険や下水道などの料金はそれぞれの課が処理を行っています。公金徴収事務の一元化を進め、大きな効果を上げた自治体がありますので、事務の効率の面、税収増の面からも一元化に取り組んではどうか。</p>	<p>意見6への対応</p> <p>公金徴収事務の一元化については、システム統合経費や人的配置など課題が多く、整理されていません。平成22年度から税務課と収納課を統合し、効率化を図ることで徴収率の向上を図ります。従いまして、貴重なご意見ではございますが、今回の行革プランには追加しません。</p>
<p>意見7</p> <p>平成22年度より、長期継続契約に役務の提供が追加されました。委託業者の選定に慎重を要するとは思いますが、長期契約によりコスト縮減に一定の効果が期待できます。全庁的に長期継続が可能な事業の洗い出しを行いコスト縮減に努力してはどうか。</p>	<p>意見7への対応</p> <p>長期継続契約については、その運用によって市民サービスの向上を図ること及びコスト削減効果が期待できます。従いまして、ご提案のとおりプランに追加します。</p> <p>なお、役務の提供にかかる契約については、随意契約から入札による契約に切り替えてまいります。</p>

意見8

入札改革について

・委託契約や物品の買入で仕様内容を工夫し、競争性を高めることで、契約を安価に抑えた実績があります。担当が仕様内容を決める時、前年踏襲や業者の話を鵜呑みにしないで、仕様の見直に努めてはどうか。

・恒例的に発生する同一委託事業の入札には、指名業者の固定化を避けるよう配慮してはどうか。

・入札にかけるべき規模の事業であっても、随意契約としている事業が多々見受けられます。公平性や競争性を高めるためにも随意契約はできるだけ減らし入札を行うようにしてはどうか。

・他の自治体では130万円以上を一般競争入札の対象としているところもあります。段階的に対象事業を拡大してはどうか。

意見8への対応

「委託契約や物品の買入で仕様内容を工夫する」「同一委託事業の入札には指名業者の固定化を避ける」「一般競争入札の対象事業を段階的に拡大する」の3件につきましては、コスト削減効果が明確でない、あるいは行革の項目として馴染まないと判断しました。

また、「随意契約はできるだけ減らして入札を行う」につきましては、意見7の長期継続契約でも見直していくこととしています。いずれも貴重なご提言ではございますが、行革プランには追加しません。